

令和 6 年 6 月 13 日現在

機関番号：32643

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2023

課題番号：18K10520

研究課題名(和文)日本の乳幼児死亡率等改善の歴史を活用した国際保健教材の開発

研究課題名(英文) Research toward the development of global health tutorial reflecting the history of Japan's rapid improvement of infant mortality rate

研究代表者

高橋 謙造 (TAKAHASHI, Kenzo)

帝京大学・公私立大学の部局等・教授

研究者番号：00365628

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究班においては、日本の過去の母子保健改善の経緯に関して、量的、質的にその改善要因を明らかにすることを目的とした。当初目標とした研究成果は得られていないものの、論文出版、研修資料等のある程度のアウトプットは出すことができた。また、本研究班の主たる成果として、質的にまとめた内容にもとづいた講義資料は作成し、帝京大学大学院講義(地域保健学)等に活用し、また、JICAのアジア(パキスタン等)、アフリカ圏(アンゴラ等)の母子保健研修等において講義資料として活用できた。本研究班にて蓄積しえた知見を更に発展させ、最終的な成果物として出版することを、今後計画していく。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の意義は、日本の過去の母子保健改善の経緯およびその改善要因を明らかにすることにより、国際保健領域における教材を作成することに目的があった。本研究班の主たる成果として、量的研究の成果は未だ出版されていないが、質的にまとめた内容にもとづき、研究者間において検討した仮説に基づき、帝京大学大学院講義(地域保健学)等に活用し、また、JICAのアジア(パキスタン等)、アフリカ圏(アンゴラ等)の母子保健研修等において講義資料としての活用ができた。低所得国からの研修員にとって、日本の過去の経験は、自国での健康改善に応用しうるとの評価を得た。教材作成として一定の成果が得られたものと判断している。

研究成果の概要(英文)：The objective of this research group was to identify the factors that contributed to the improvement of maternal and child health care in Japan, both quantitatively and qualitatively. Although the initial goal of this research group was not achieved, we were able to produce a certain amount of output, such as publications and training materials. As the main results of this research group, lecture materials based on the qualitatively summarized contents were prepared and utilized in lectures at Teikyo University Graduate School (Community Health Science), etc., and were also utilized as lecture materials in JICA's maternal and child health training programs in Asia (Pakistan, etc.) and Africa (Angola, etc.). We plan to further develop the findings accumulated by this research group and publish them as a final product in the future.

研究分野：国際母子保健

キーワード：乳児死亡率 新生児死亡率 助産師 保健師 医師 住民ボランティア

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

日本の乳児死亡率は、第一次世界大戦頃(1914 - 1918)には、1918年の188.6 / 1000出生をピークとして高いものであったが、1920年代から急速に改善し、1983-1993には世界最良水準の低死亡率となった。この改善の状況は世界的にも注目されているところである。この歴史的事実に対して、本研究班は、二つの学問的問いに基づいて研究を開始した。すなわち、「日本が成し遂げた乳児死亡率の低下に保健師等の地域保健人材が寄与したのではないか?」、「地域保健人材以外に寄与した要因は何か?」という問いである。

2. 研究の目的

本研究班においては、日本の過去の母子保健改善の経緯に関して、量的、質的にその改善要因を明らかにすることを試みた。これらの要因が明らかになることによって、国際保健領域の教育資料を作成し、低所得国の母子保健の改善に資することを目的とした。

3. 研究の方法

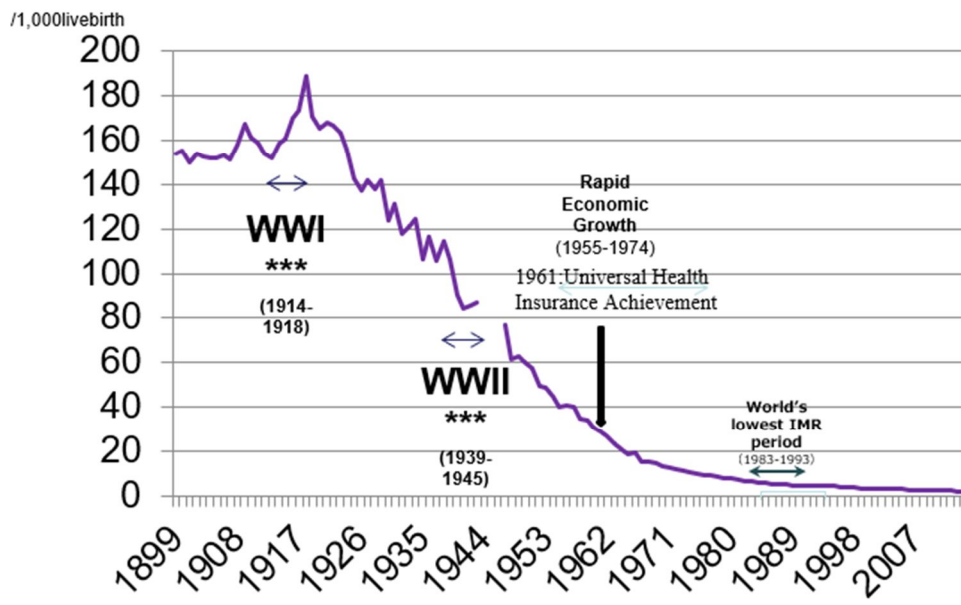
質的な検証は、島根県、沖縄県等での保健婦経験者等へのインタビューや過去の文献資料の検討を行い、Case Study Research法によって、主として地域保健人材の育成経緯と母子保健活動への寄与を質的に明らかにする手法をとった(担当者:神田、小林、中村、富山等)。

また、量的検証では、母子保健関連の法令整備が十分ではなかった1900-40年代の乳児、新生児死亡率低下の要因を、乳児、新生児死亡率をアウトカム変数とし、地域保健人材数、GNP、摂取カロリー等を独立変数として、多変量解析を行うこととした(担当者:神田、高橋等)。

4. 研究成果

当初目標とした研究成果は得られていないものの、論文出版、研修資料等のある程度アウトプットは出すことができた。本研究班の主たる成果としての量的研究の成果は未だ出版されていないが、質的にまとめた内容にもとづいた講義資料は作成し、帝京大学大学院講義(地域保健学)等に活用し、また、JICAのアジア(パキスタン等)、アフリカ圏(アンゴラ等)の母子保健研修等において講義資料として活用している。また、図1のような歴史的イベントと乳児死亡率の経緯を示すことにより、「乳児死亡率の低下が見られ始めた1920年頃から行動経済成長期(1955年以降)までの期間の寄与要因はなにか?」という新たなResearch Questionが生まれた。この寄与要因の分析も進め、今後も研究を継続していく必要がある。本研究班にて蓄積しえた知見を更に発展させ、最終的な成果物として出版することを、今後計画していく。

Figure. 1 The reduction of IMR owes neither to UHI* nor REG** !



*UHI: Universal Health Insurance
 Source: <http://e-stat.go.jp>
 **REG: Rapid Economic Growth
 **WWI, II: World War 1, World War 2

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計66件（うち査読付論文 56件 / うち国際共著 14件 / うちオープンアクセス 43件）

1. 著者名 Nonaka Daisuke, Inthavong Nouhak, Takahashi Kenzo, Chanthakoumane Ketmany, Toyama Yuko, Luangphaxay Chanthaly, Pongvongsa Tiengkham, Kounnavong Sengchanh	4. 巻 50
2. 論文標題 Primary health care situations in remote rural villages of the Savannakhet province, Lao People's Democratic Republic	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Tropical Medicine and Health	6. 最初と最後の頁 Web
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s41182-022-00482-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Kaneda Y, Tanimoto T, Takahashi K, Akashima S, Ozaki A.	4. 巻 6
2. 論文標題 Is the Testing System No Longer Effective for Coronavirus Disease 2019? Elucidating the Policy Change in the United Kingdom	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 JMA Journal	6. 最初と最後の頁 Web
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.31662/jmaj.2022-0143	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Kaneda Y, Sakeshima K, Takahashi K, Ozaki A, Tanimoto T	4. 巻 115
2. 論文標題 Public health risks for relaxing quarantine for pet dogs entering with Ukrainian refugees	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 QJM: An International Journal of Medicine	6. 最初と最後の頁 495 ~ 496
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/qjmed/hcac135	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Shibata Aki, Suzuki Asuka, Takahashi Kenzo	4. 巻 20
2. 論文標題 Gender Differences in Socio-Demographic Factors Associated with Pre-Frailty in Japanese Rural Community-Dwelling Older Adults: A Cross-Sectional Study	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 1091 ~ 1091
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph20021091	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kamo-Imai Ayumi, Togano Tomiteru, Sato Motohiko, Kawakami Yuiko, Inaba Kumi, Shimazu Hiroshi, Igarashi Saori, Tanaka Keiko, Terada Mari, Kinoshita-Iwamoto Noriko, Saito Sho, Kutsuna Satoshi, Hangaishi Akira, Morioka Shinichiro, Takahashi Kenzo, Miyata Satoshi, Ohmagari Norio	4. 巻 in press
2. 論文標題 The safety of plasma apheresis from donors recovering from COVID-19 infection in Japan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Transfusion and Apheresis Science	6. 最初と最後の頁 103687 ~ 103687
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.transci.2023.103687	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu Mari, Nakata Yoshinori, Takahashi Kenzo	4. 巻 13
2. 論文標題 Current findings and gaps in early initiation of breastfeeding practices in sub-Saharan African countries: A scoping review	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Global Health	6. 最初と最後の頁 Web
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7189/jogh.13.04036	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishimura Etsuko, Rahman Md Obaidur, Ota Erika, Toyama Noriko, Nakamura Yasuhide	4. 巻 10
2. 論文標題 Role of Maternal and Child Health Handbook on Improving Maternal, Newborn, and Child Health Outcomes: A Systematic Review and Meta-Analysis	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Children	6. 最初と最後の頁 435 ~ 435
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/children10030435	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 25.石和田 稔彦, 古家 信介, 井田 孔明, 伊藤 友弥, 祝原 賢幸, 大川 貴司, 大木 茂, 緒方 健一, 賀来 典之, 木村 重美, 高橋 謙造, 中村 公俊, 中村 安秀, 福地 成, 岬 美穂, 和田 雅樹, 清水 直樹, 呉 繁夫, 和田 和子, 日本小児科学会災害対策委員会	4. 巻 126
2. 論文標題 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行期の災害時小児周産期リエゾンの活動に関するWEBアンケート調査	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本小児科学会雑誌	6. 最初と最後の頁 1105-1112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高橋謙造	4. 巻 54
2. 論文標題 特集COVID-19：各国の感染制御対策の明暗 対策成功事例，失敗事例に学ぶ．	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 小児内科	6. 最初と最後の頁 137-142
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩本 あづさ，中村 安秀，菅 幸恵，レシャード カレド，小林 潤，前川 由佳，淵上 養子，田中 増美，田畑 彩生，神谷 友子，佐藤 慈，池村 幸一，東山 諒子，沢辺 美弥，竹内 直志，渡邊 稔之，中里 つばさ，西尾 浩美，有高 奈々絵，林 玲子	4. 巻 37
2. 論文標題 1. 世界は動いている！ 難民・移民の健康 Hot topics、2. 難民に対する支援 エンパワメントを求めて、3. 日本の難民の生活状況、4. アフガニスタンの惨事、衛生と食糧事情 今、国際社会にできること、5. 人道危機において保健分野の国際NGOが果たす役割慢性緊急状態にあるタイ・ミャンマー国境での支援の経験から、6. 難民の健康 その論点	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 国際保健医療	6. 最初と最後の頁 113-131
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩本 あづさ，小川 寿美子，中村 安秀，小松 愛子，長澤 正隆，リトル 奈々重，エレーラ・ルルデス	4. 巻 37
2. 論文標題 5. 今こそ考えよう「誰ひとり取り残されない移民の健康」、5-1. 今なぜ、「移民の健康」か？、5-2. 「移民の健康」をとりまく世界の状況、5-3. 「誰ひとり取り残されない移民の健康」日本国内の現状と課題；仮放免者と難民申請者、非正規滞在者の実態、5-4. ハワイにおける日系移民の歴史的変遷と高齢者ケアの現状、5-5. 当事者として取り組んできた「移民の健康」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 国際保健医療	6. 最初と最後の頁 37-50
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 中村安秀	4. 巻 65
2. 論文標題 難民・避難民に対する保健医療	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 保健の科学	6. 最初と最後の頁 4-8
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村安秀	4. 巻 52
2. 論文標題 特集 成育基本法と医療的ケア児等支援法に基づく育児支援 成育基本法と妊産婦・子育て支援 母子健康手帳のさらなる発展に向けた提言	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 周産期医学	6. 最初と最後の頁 1525-1528
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村安秀	4. 巻 22
2. 論文標題 支援する人とされる人との共話の心地よさ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ボランティア学研究	6. 最初と最後の頁 141-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomokawa Sachi, Miyake Kimihiro, Takahashi Kenzo, Tomokawa Aya, Kokudo Shohei, Ueno Marie, Kigawa Mika, Asakura Takashi	4. 巻 63
2. 論文標題 Health screening system to ensure children's health and development in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Pediatrics International	6. 最初と最後の頁 869 ~ 879
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.14733	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakano Katuhiro, Kenzo Takahashi	4. 巻 8
2. 論文標題 Current global situation of SARS-CoV-2 variants circulation and future actions required in Japan.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ADC Letters for Infectious Disease Control	6. 最初と最後の頁 49-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20814/adc.8.2_49	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Jun、Takahashi Kenzo	4. 巻 64
2. 論文標題 “Reverse innovation” and “child rights” in further school health promotion	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Pediatrics International	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.15002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi Kenzo、Kobayashi Jun	4. 巻 64
2. 論文標題 Quantitative or qualitative? Both types of research matter for establishing a voice from field evidence	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Pediatrics International	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.14988	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Senoo Yuki、Suzuki Yosuke、Tsuda Kenji、Tanimoto Tetsuya、Takahashi Kenzo	4. 巻 22
2. 論文標題 Association between COVID-19 morbidity and mortality rates and BCG vaccination policies in OECD countries	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Infection Prevention	6. 最初と最後の頁 91 ~ 93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1757177420976812	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Naganuma Yuki、Yamaoka Kazue、Takahashi Kenzo	4. 巻 4
2. 論文標題 Relationship between social cohesion and the care burden of primary family caregivers in central Tokyo, Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Health Science Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hsr2.238	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Noda Shinichiro, Hernandez Paul Michael R., Sudo Kyoko, Takahashi Kenzo, Woo Nam Eun, Chen He, Inaoka Kimiko, Tateishi Emiko, Affarah Wahyu Sulistya, Kadriyan Hamsu, Kobayashi Jun	4. 巻 21
2. 論文標題 Service Delivery Reforms for Asian Ageing Societies: A Cross-Country Study Between Japan, South Korea, China, Thailand, Indonesia, and the Philippines	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Integrated Care	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5334/ijic.4739	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kurosawa Teruyoshi, Watanabe Hiroshi, Takahashi Kenzo	4. 巻 40
2. 論文標題 Cost-utility Analysis of Rotavirus Vaccines Including the Latest Evidence and Data as of June 2020 in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Pediatric Infectious Disease Journal	6. 最初と最後の頁 162 ~ 168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/INF.0000000000002938	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mizutani Shinichiro, Takahashi Kenzo, Matsuura Masaaki	4. 巻 64
2. 論文標題 Situation analyses of caregivers' knowledge on infant liquid formula in Japan: a cross sectional questionnaire based study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Pediatrics International	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.14868	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Jun, Takeuchi Rie, Shibuya Fumiko, Murata Yuki, Takahashi Kenzo	4. 巻 49
2. 論文標題 Recommendations for the urgent need to vaccinate school-aged and adolescent children against COVID-19 in the Asia-Pacific region	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Tropical Medicine and Health	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s41182-021-00365-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kosaka Makoto, Kotera Yasuhiro, Tsuda Kenji, Takahashi Kenzo, Hamaki Tamae, Kusumi Eiji, Kami Masahiro, Tanimoto Tetsuya	4. 巻 17
2. 論文標題 Influenza vaccination uptake and attitudes among adult cancer patients in Japan: a web-based questionnaire survey before the 2020/2021 season	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Human Vaccines & Immunotherapeutics	6. 最初と最後の頁 5509 ~ 5513
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/21645515.2021.1977569	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Niwayama Marie, Sakisaka Kayako, Wongwatcharapaiboon Pongthep, Rattanachun Valika, Miyata Satoshi, Takahashi Kenzo	4. 巻 18
2. 論文標題 Prevalence of Locomotive Organ Impairment and Associated Factors among Middle-Aged and Older People in Nan Province, Thailand	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 10871 ~ 10871
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph182010871	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Senoo Yuki, Suzuki Yousuke, Tsuda Kenji, Tanimoto Tetsuya, Takahashi Kenzo	4. 巻 23
2. 論文標題 Association between coronavirus disease morbidity and mortality rates and BCG vaccination policies in OECD countries. Authors' reply	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Infection Prevention	6. 最初と最後の頁 118 ~ 119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/17571774211066753	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kenzo Takahashi	4. 巻 -
2. 論文標題 So many situations, so many values-Understanding the complicated situations against COVID-19 issues	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Pediatrics International	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋謙造、斎藤宏子	4. 巻 63
2. 論文標題 新型コロナウイルス禍での学校保健(第4回)COVID-19流行下における子どもの通学確保のための世界的潮流	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 学校保健研究	6. 最初と最後の頁 71 - 74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi K, Eto T	4. 巻 62
2. 論文標題 From historical experiences to global outcome: Lessons learned from school health in Japan.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pediatrics International	6. 最初と最後の頁 1017-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.14355	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Senoo Y, Suzuki Y, Tsuda K, Tanimoto T, Takahashi K	4. 巻 22
2. 論文標題 Association between COVID-19 morbidity and mortality rates and BCG vaccination policies in OECD countries.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Infect Prev	6. 最初と最後の頁 91-93.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1757177420976812	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 52.Senoo Y, Suzuki Y, Tsuda K, Takahashi K, Tanimoto T	4. 巻 113
2. 論文標題 Prioritizing infants in a time of Bacille Calmette-Guerin vaccine shortage caused by premature expectations against COVID-19.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 QJM 2020 ; 113(10):773-774 Published online 2020 May 22.	6. 最初と最後の頁 773-774
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/qjmed/hcaa179	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Estrada CAM, Gregorio ERJ, Kanyasan K, Jeudyla H, Tomokawa S, Dumlao MC, Kobayashi J	4. 巻 62
2. 論文標題 School Health Promotion in Southeast Asia by the Japan and Partners	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pediatr Int	6. 最初と最後の頁 1029-1038.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.14284	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishio A, Kakimoto M, Bernardo TMS, Kobayashi J.	4. 巻 62
2. 論文標題 Current situation and comparison of school mental health in ASEAN countries.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pediatr Int	6. 最初と最後の頁 438-443.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.14137	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hisamatsu T, Taniguchi K, Fukuda M, Kinuta M, Nakahata N, and Kanda H	4. 巻 31
2. 論文標題 Effect of Coronavirus Disease 2019 Pandemic on Physical Activity in a Rural Area of Japan: The Masuda Study.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 237-238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20200598.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村安秀	4. 巻 35
2. 論文標題 平和につながる「社会的処方箋」.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際保健医療	6. 最初と最後の頁 7-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11197/jaih.35.7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kenzo Takahashi, Takashi Eto	4. 巻 in press
2. 論文標題 From Historical experiences to the global outcome: Lessons learned from school health in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pediatrics International	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi K.	4. 巻 7
2. 論文標題 Pedagogy in Global Health: Empirical view for basic requirements for teaching Global Health.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ADC Letters in infectious disease control	6. 最初と最後の頁 34-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20814/adc.7.1_34	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato C, Phongluxa K, Toyama N, Gregorio ER Jr, Miyoshi C, Nishimoto F, Takayama T, Pongvongsa T, Takahashi K, Kounnavong S, Kobayashi J.	4. 巻 47
2. 論文標題 Factors influencing the choice of facility-based delivery in the ethnic minority villages of Lao PDR: a qualitative case study.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Trop Med Health	6. 最初と最後の頁 e50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s41182-019-0177-2.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sudo K, Kobayashi J, Noda S, Chompikul J, Fukuda Y, Takahashi K.	4. 巻 17
2. 論文標題 Strengthening self-help and mutual aid in Japan's community-based integrated care system based on the Thai health policy for the elderly.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Public Health Development	6. 最初と最後の頁 115-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakamoto R, Tanimoto T, Takahashi K, Hamaki T, Kusumi E, Crump A.	4. 巻 85
2. 論文標題 Flourishing Japanese Encephalitis, Associated with Global Warming and Urbanisation in Asia, Demands Widespread Integrated Vaccination Programmes.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Annals of Global Health.	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5334/aogh.2580.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakamura Yasuhide.	4. 巻 1
2. 論文標題 The role of maternal and child health (MCH) handbook in the era of sustainable development goals (SDGs).	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Glob Health Sci.	6. 最初と最後の頁 e24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35500/jghs.2019.1.e24	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村安秀 .	4. 巻 61
2. 論文標題 日本の保健医療とSDGs .	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 保健の科学	6. 最初と最後の頁 829-834
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Katsuno C, Gregorio ER Jr, Lomboy MFTC, Nonaka D, Hernandez PMR, Estrada CAM, Pimentel JMT, Bernadas RMGC, Kobayashi J.	4. 巻 47
2. 論文標題 Quality of public school toilets and the frequency of changing sanitary napkins among students in public secondary schools in the City of Manila, Philippines.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Trop Med Health.	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s41182-018-0131-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Gregorio ER Jr, Medina JRC, Lomboy MFTC, Talaga ADP, Hernandez PMR, Kodama M, Kobayashi J.	4. 巻 14
2. 論文標題 Knowledge, attitudes, and practices of public secondary school teachers on Zika Virus Disease: A basis for the development of evidence-based Zika educational materials for schools in the Philippines.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLoS One.	6. 最初と最後の頁 1-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0214515	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 高橋謙造	4. 巻 34
2. 論文標題 「いい経験」は、言葉にしていくべき.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際保健医療	6. 最初と最後の頁 113-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11197/jaih.34.113	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kitano Naomi, Yoshimasu Kouichi, Yamamoto Beverley Anne, Nakamura Yasuhide	4. 巻 13
2. 論文標題 Associations between childhood experiences of parental corporal punishment and neglectful parenting and undergraduate students' endorsement of corporal punishment as an acceptable parenting strategy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0206243	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takahashi K, Tsubokura M	4. 巻 60
2. 論文標題 Great East Japan Earthquake: Proactive sharing of lessons learned	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pediatrics international	6. 最初と最後の頁 213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Horiuchi Sayaka, Rattana Sommana, Saysanasongkham Bounnack, Kounnavongsa Outhevanh, Kubota Shogo, Cayrol Julie, Takahashi Kenzo, Inoue Mariko, Nemoto Asuka, Yamaoka Kazue	4. 巻 18
2. 論文標題 Study protocol of a cluster randomized controlled trial to evaluate effectiveness of a system for maintaining high-quality early essential newborn care in Lao PDR	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 BMC Health Services Research	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12913-018-3311-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高橋謙造	4. 巻 50
2. 論文標題 ワクチンの副反応と紛れ込み	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 小児内科	6. 最初と最後の頁 1213-1217
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naganuma Y, Kihara S, Fujita Y, Yamaoka K, Takahashi K	4. 巻 12
2. 論文標題 The relation between social cohesion and the care burden of family healthcare providers	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Bioscience Trends	6. 最初と最後の頁 520-522
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5582/bst.2018.01175.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsumura Hideki, Kanda Hideyuki, Sugaya Nagisa, Tsuboi Satoshi, Fukuda Mari, Takahashi Kenzo	4. 巻 21
2. 論文標題 Problematic Internet Use and Its Relationship with Psychological Distress, Insomnia, and Alcoholism Among Schoolteachers in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cyberpsychology, Behavior, and Social Networking	6. 最初と最後の頁 788 ~ 796
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/cyber.2018.0233	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohkusa Yasushi、Sugawara Tamie、Takahashi Kenzo、Kamei Miwako	4. 巻 12
2. 論文標題 Comparative study of preciseness in the regional variation of influenza in Japan among the National Official Sentinel Surveillance of Infectious Diseases and the National Database of Electronic Medical Claims	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 BioScience Trends	6. 最初と最後の頁 636 ~ 640
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5582/bst.2018.01279	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugaya Nagisa、Shirasaka Tomohiro、Takahashi Kenzo、Kanda Hideyuki	4. 巻 13
2. 論文標題 Bio-psychosocial factors of children and adolescents with internet gaming disorder: a systematic review	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BioPsychoSocial Medicine	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13030-019-0144-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高橋謙造	4. 巻 82
2. 論文標題 外国人小児に関する保健医療統計	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 小児科診療	6. 最初と最後の頁 307-311
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋謙造	4. 巻 51
2. 論文標題 社会的養護を身近に知っておくべき時代	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 小児内科	6. 最初と最後の頁 289-290
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morioka Hisayoshi, Jike Maki, Kanda Hideyuki, Osaki Yoneatsu, Nakagome Sachi, Otsuka Yuichiro, Kaneita Yoshitaka, Itani Osamu, Higuchi Susumu, Ohida Takashi	4. 巻 50
2. 論文標題 The association between sleep disturbance and second-hand smoke exposure: a large-scale, nationwide, cross-sectional study of adolescents in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sleep Medicine	6. 最初と最後の頁 29 ~ 35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.sleep.2018.04.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kinjo Aya, Kuwabara Yuki, Minobe Ruriko, Maezato Hitoshi, Kimura Mitsuru, Higuchi Susumu, Matsumoto Hiroshi, Yuzuriha Takefumi, Horie Yoshinori, Kanda Hideyuki, Yoshimoto Hisashi, Osaki Yoneatsu	4. 巻 193
2. 論文標題 Different socioeconomic backgrounds between hazardous drinking and heavy episodic drinking: Prevalence by sociodemographic factors in a Japanese general sample	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Drug and Alcohol Dependence	6. 最初と最後の頁 55 ~ 62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.drugalcdep.2018.08.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 橋村康二, 福田茉莉, 鈴木哲, 木村愛子, 佐藤利栄, 津村秀樹, 嘉数直樹, 神田 秀幸	4. 巻 41
2. 論文標題 中山間地域在住の家族介護者における介護負担感に関連する要因 - ソーシャルサポートに焦点を当てて -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 島根大学医学部紀要	6. 最初と最後の頁 23-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakano Kumiko, Nakamura Yasuhide, Shimizu Akiko, Alamer Sojoud	4. 巻 18
2. 論文標題 Exploring roles and capacity development of village midwives in Sudanese communities	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Rural and Remote Health	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.22605/RRH4668	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishihara Mika, Nakamura Yasuhide, Fuchimukai Toru, Ohnishi Mayumi	4. 巻 23
2. 論文標題 Factors associated with social support in child-rearing among mothers in post-disaster communities	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Environmental Health and Preventive Medicine	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12199-018-0747-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村安秀	4. 巻 81
2. 論文標題 インバウンドとアウトバウンド	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 小児科診療	6. 最初と最後の頁 405-412
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村安秀	4. 巻 60
2. 論文標題 プライマリヘルスケアの40年の歩み	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 保健の科学	6. 最初と最後の頁 364-368
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村安秀	4. 巻 48
2. 論文標題 母子健康手帳：外国語版母子健康手帳を紹介してください。	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 周産期医学	6. 最初と最後の頁 1065-1068
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤友弥, 緒方健一, 奥山真紀子, 吳繁夫, 高田哲, 岬美穂, 村上佳津美, 中村友彦, 中村安秀, 澗向透, 桃井伸緒, 和田和子, 千田勝一, 田村正徳, 清水直樹, 井田孔明, 細矢光亮, 楠田聡	4. 巻 122
2. 論文標題 平成28年熊本地震で日本小児科学会から派遣された医師へのアンケート調査結果報告および、今後の日本小児科学会による被災地診療支援への取り組み.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本小児科学会雑誌	6. 最初と最後の頁 1510-1515
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村安秀	4. 巻 82
2. 論文標題 外国人小児に対する保健医療.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 小児科診療	6. 最初と最後の頁 295-299
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計30件 (うち招待講演 9件 / うち国際学会 9件)

1. 発表者名 久松隆史・福田茉莉・谷口かおり・中畑典子・神田秀幸
2. 発表標題 地域住民におけるJSH2019に基づく高血圧の有病率・認知率・治療率・管理率：益田研究
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高橋謙造.
2. 発表標題 世界と日本の小児COVID-19の状況.
3. 学会等名 第4回日本国際小児保健学会 基調講演. 岡山. (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sato R, Hisamatsu T, Tsumura H, Fukuda M, Esumi Y, Mikajiri K, Tamura S, Kanda H
2. 発表標題 The Relationship Between Alcohol Drinking Before Sleeping(Ne-Zake) or in the Morning(Mukae-Zake) and Sleeplessness Among Farmers.
3. 学会等名 AHA EPI LIFESTYLE 2020 Scientific Sessions,Phoenix, Arizona, USA (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高橋謙造
2. 発表標題 SDGsの時代：誰一人取り残さないための、小児保健の役割.
3. 学会等名 日本国際小児保健学会，東京（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋謙造
2. 発表標題 国際保健医療における研究倫理審査と研究成果の公表～フィールド経験の説得力ある発表のために～
3. 学会等名 日本国際保健医療学会，三重県津市
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 當山紀子，高橋謙造，鈴木ミナ子，上原真名美，福田茉莉，神田秀幸，小林潤，中村安秀:
2. 発表標題 戦後沖縄における駐在保健師の育成に関する事例研究，
3. 学会等名 日本国際保健医療学会，三重県津市
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 神田秀幸、福田茉莉、土江梨奈、津村秀樹、久松隆史
2. 発表標題 山陰地方の中学・高校教職員におけるインターネット利用状況の実態.
3. 学会等名 第63回中国四国合同産業衛生学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kenzo Takahashi
2. 発表標題 Japan 's challenge of measles control; Learning from measles epidemics;
3. 学会等名 The 16th Asia Pacific Congress of Pediatrics, Nusa Dua, Bali, Indonesia, 29 Aug, 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高橋謙造
2. 発表標題 途上国への支援～双方向のベネフィット (Mutual Benefitの時代)
3. 学会等名 第122回 日本小児科学会学術集会. 2019, 石川 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fukuda M., Iwaibara A., Tsumura H., Sato R., and Kanda H.
2. 発表標題 The Relationship Between Internet Addiction and Burnout Among Junior High School Teachers in Japan.
3. 学会等名 The 7th Annual Conference of International Society of Internet Addiction (ISIA 2018). Taichung, TAIWAN, Asia University, June 01, 2018. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田茉莉・神田秀幸.
2. 発表標題 戦後の公衆衛生活動の歴史的変遷 - 島根県を例に.
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会・ピックパレットふくしま・福島県郡山市・2018.10.25.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤利栄・津村秀樹・福田茉莉・江角幸夫・三ヶ尻 薫・田村周作・神田秀幸.
2. 発表標題 農業従事者における精神的健康状態とその関連要因.
3. 学会等名 第54回日本循環器病予防学会学術集会, 北海道, 札幌 (ホテルライフオーソ札幌) 2018.06.23.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 H Kanda, Y Osaki, Y Kaneita, O Itani, M Jike, S Nakagome, Y Otsuka, S Higuchi, T Ohida.
2. 発表標題 Alcohol and minors in Japan
3. 学会等名 19th Congress of International Society for Biomedical Research on Alcoholism. Kyoto International Conference Center, September 10, 13:00-14:30, Kyoto, Japan (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大塚 雄一郎, 兼板 佳孝, 井谷 修, 地家 真紀, 中込 祥, 尾崎 米厚, 神田 秀幸, 樋口 進, 鈴木 健二, 大井田 隆.
2. 発表標題 わが国の中学生・高校生の睡眠の質と不健康な食習慣の関連について
3. 学会等名 第43回日本睡眠学会定期学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大城 等, 神田 秀幸, 坂 秀子
2. 発表標題 地域がん登録データを用いた生存解析によるがん検診の評価
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 橋村 康二, 福田 茉莉, 嘉数 直樹, 津村 秀樹, 佐藤 利栄, 神田 秀幸
2. 発表標題 中山間地域在住の家族介護者における介護負担感とソーシャルサポートとの関連
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上野 明則, 長崎 みゆき, 大城 等, 中本 稔, 谷口 栄作, 神田 秀幸
2. 発表標題 島根県における年齢階級別要介護認定率、要介護度分布推移
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 祝原 あゆみ, 福田 茉莉, 津村 秀樹, 神田 秀幸
2. 発表標題 全国の中学校教員におけるインターネット依存とバーンアウトの関連
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤 利栄, 津村 秀樹, 福田 茉莉, 江角 幸夫, 三ヶ尻 薫, 田村 周作, 神田 秀幸
2. 発表標題 農業従事者における寝酒・迎え酒と不眠の関連
3. 学会等名 第62回中国四国合同産業衛生学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村安秀
2. 発表標題 なぜ戦後すぐに母子健康手帳が日本で最初に作成されたのか？
3. 学会等名 第131回日本医史学会（鹿児島）2018年6月
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柳澤沙也子, 戸田登美子, 丸 光恵, 中村安秀
2. 発表標題 インドネシア・ロンボク島における高齢者体操の推進活動について.
3. 学会等名 第31回日本国際保健医療学会東日本地方会（筑波）2018年7月
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakamura Y.
2. 発表標題 The First 1000 days of life. Mother environment, is it linked to child health?
3. 学会等名 Asia Pacific Congress of Pediatrics (APCP) 2018, Bali Nusa Dua Convention Center, Indonesia, August 27, 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakamura Y.
2. 発表標題 Child Healthcare of Asian Immigrants in Japan
3. 学会等名 Asia Pacific Congress of Pediatrics (APCP) 2018, Bali Nusa Dua Convention Center, Indonesia, August 27, 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村安秀
2. 発表標題 医療は文化です：こどもの健康をめぐる宗教文化的考察。
3. 学会等名 第2回国際小児保健学会(千葉) 2018年9月8日
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuhide NAKAMURA, Mika Nishihara, Mayumi Ohnishi.
2. 発表標題 The Role of Health Coordination Council as Cluster Approach in the Tsunami-affected Local City.
3. 学会等名 Asia Pacific Conference on Disaster Medicine, Kobe, October18, 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金森万里子, 近藤尚己, 中村安秀.
2. 発表標題 乳児死亡率の世帯の職業間格差.
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会(福島県郡山市)2018年10月
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村安秀
2. 発表標題 Developmentという幻想：発達、開発、発展をめぐる神話。
3. 学会等名 第33回日本国際保健医療学会学術集会（東京都小平市） 2018年12月1日（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柳澤沙也子，戸田登美子，丸 光恵，中村安秀。
2. 発表標題 専門職がいない地域における障がい者ケア：インドネシア・ロンボク島の経験。
3. 学会等名 第33回日本国際保健医療学会学術集会（東京都小平市） 2018年12月1日
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakamura Y.
2. 発表標題 From the Past to Present of Maternal and Child Health (MCH) Handbook Program
3. 学会等名 The 11th International Conference on Maternal and Child Health Handbook, Montien Riverside Hotel, Bangkok, Thailand. 12-14 December 2018. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakamura Y.
2. 発表標題 Maternal and Child Health (MCH) Handbook flourishing the world
3. 学会等名 International Pediatric Association 2019 Symposium of Maternal and child health (MCH) handbook and sustainable developmental goals (SDGs). Panama City. 18 March 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計12件

1. 著者名 高橋謙造（分担執筆）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 杏林書院	5. 総ページ数 256
3. 書名 実践グローバルヘルス - 現場における実践力向上をめざして -	

1. 著者名 高橋謙造、中村安秀（分担執筆）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 杏林書院	5. 総ページ数 233
3. 書名 実践グローバルヘルス新訂版 現場における実践力向上をめざして	

1. 著者名 中村安秀	4. 発行年 2021年
2. 出版社 旬報社	5. 総ページ数 180
3. 書名 海をわたった母子手帳	

1. 著者名 Satoru Kimura, Yasuhide Nakamura.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Springer. Singapore,	5. 総ページ数 10
3. 書名 Poor Quality Pharmaceuticals in Global Public Health.	

1. 著者名 中村安秀.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ジアース教育新社、東京	5. 総ページ数 2
3. 書名 母子健康手帳. 子どもの保健 (日本小児保健協会幼児健康度調査委員会 編著),	

1. 著者名 李節子、高橋謙造	4. 発行年 2018年
2. 出版社 杏林書院	5. 総ページ数 198
3. 書名 在日外国人の健康支援と医療通訳	

1. 著者名 木戸 彩恵、サトウ タツヤ、福田茉莉	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ちとせプレス	5. 総ページ数 304
3. 書名 文化心理学	

1. 著者名 岸 玲子、小泉 昭夫、馬場 園明、今中 雄一、武林 亨	4. 発行年 2018年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 434
3. 書名 NEW予防医学・公衆衛生学 (改訂第4版)	

1. 著者名 加藤士郎	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中山書店	5. 総ページ数 272
3. 書名 臨床力をアップする漢方	

1. 著者名 中村安秀、當山紀子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 杏林書院	5. 総ページ数 185
3. 書名 地域保健の原点を探る 戦後日本の事例から学ぶプライマリヘルスケア	

1. 著者名 国際開発学会（中村安秀、高橋謙造）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 640
3. 書名 国際開発学事典	

1. 著者名 中村安秀	4. 発行年 2019年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 305
3. 書名 情報化社会と国際ボランティア	

〔産業財産権〕

〔その他〕

帝京大学大学院公衆衛生学研究科高橋 謙造（たかはし けんぞう）教授
<http://www.med.teikyo-u.ac.jp/~tsph/members/ktakahashi.html>
 琉球大学 医学部保健学科 国際地域保健学教室 研究業績
<http://www.okinawaghealth.com/user.php?CMD=11540150000000>
 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 公衆衛生学分野
<http://plaza.umin.ac.jp/okayamadph/work/index.html>
 中村 安秀
<https://researchmap.jp/read0056913>
 業績：帝京大学公衆衛生学研究科（高橋謙造 含む）
<http://www.med.teikyo-u.ac.jp/~tsph/publication.html>
 岡山大学大学院 公衆衛生学研究科 業績（神田秀幸、福田茉莉含む）
<http://plaza.umin.ac.jp/okayamadph/work/index.html>
 琉球大学国際地域保健学教室（小林潤含む）
<http://www.okinawaghealth.com/user.php?CMD=11540150000000>
 琉球大学研究者データベース（當山紀子）
http://kenkyushadb.lab.u-ryukyu.ac.jp/html/100001483_ja.html
 甲南女子大学 教員詳細（中村安秀）
https://www.konan-wu.ac.jp/dept_grad/teachers/detail.php?id=269
 帝京大学大学院公衆衛生学研究科業績リスト
<http://www.med.teikyo-u.ac.jp/~tsph/publication.html>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	中村 安秀 (NAKAMURA Yasuhide) (60260486)	甲南女子大学・看護リハビリテーション学部・教授 (34507)	
研究分担者	小林 潤 (KOBAYASHI Jun) (70225514)	琉球大学・医学部・教授 (18001)	
研究分担者	神田 秀幸 (KANDA Hideyuki) (80294370)	島根大学・学術研究院医学・看護学系・教授 (15201)	
研究分担者	豊川 紀子（當山紀子） (TOYOKAWA Noriko) (10650418)	琉球大学・医学部・客員研究員 (18001)	
研究分担者	福田 茉莉 (FUKUDA Mari) (70706663)	島根大学・学術研究院医学・看護学系・助教 (15201)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------